

津山中央病院広報誌 「スマイル」

# Smile

2023

新年号

ご自由におとりください



特集

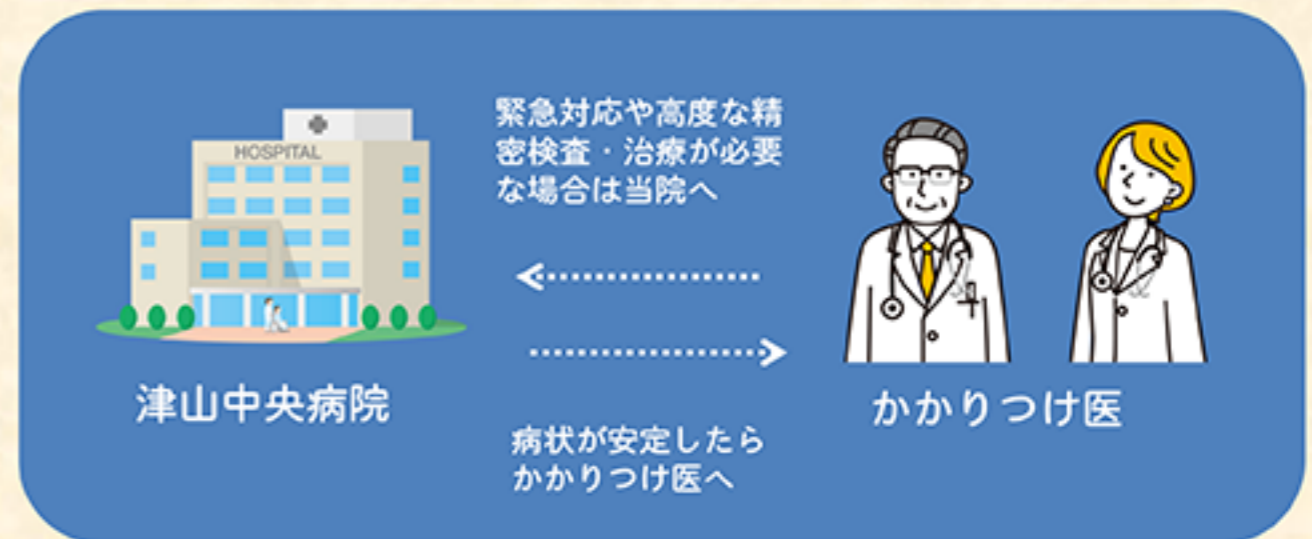
新ドクターカー運行から半年  
地域の救命率が向上

## 津山中央病院の役割

私ども「津山中央病院」は地域の中核病院として「高度医療の提供・急性期疾患の対応・充実した救急医療の提供」を果たす役割を担っております。この3つの使命は、地域の皆様のご要望とも言うことができ、当院はこれを実現すべく、日夜、研鑽に励んでおります。

また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

当院の近隣エリアには、回復期リハビリテーション病院やかかりつけ医として日常的な診療や健康管理を行う診療所など、それぞれの特長を活かした医療機関があります。地域内での機能分化を進め、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう、地域の医療機関との密な連携に取り組んでいます。



## かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常の健康管理を行う近所のお医者さんです。あなたに気になる症状があればすぐに相談でき、万が一、専門的な検査・治療が必要となれば、当院を紹介してもらうことができます。

## 新年明けましておめでとうございます



津山中央病院  
病院長  
林 同輔

2020年に始まった新型コロナウイルス禍ですが、予想外に長引き4年目に突入してしまいました。当院は第2種感染症指定医療機関として、県北の地域医療機関と連携してコロナ診療にあたってきましたが、地域の皆様方の暖かいご支援とご協力のおかげで、何とかこれまでの多くの波を乗り越えることが出来ました。当院に与えられた役割は、言うまでもなく「コロナ診療だけではありません。本来の使命である「お断りしない救急」と「最先端の医療の提供」を堅持するため、がん陽子線治療センター・新病棟・新手術室等に、数々の設備投資・体制整備を行ってきました。今年も当院の理念である「地域の皆さんに優しく寄り添い、まを果たすべく努力してまいりますので、引き続き皆様方のご支援を宜しくお願いたします。今年こそ、このコロナ禍が終息し、以前の日常が取り戻せるようになることを祈念しています。

## 特集

# 新ドクターカー 運行から半年、 地域の救命率が向上



## 救急医療体制と当院の位置付け

津山中央病院は岡山県北の津山市に立地しており岡山県北に存在する唯一の救命救急センターを有しています。岡山県美作地域と兵庫県の一部(面積にして大阪府の約1.5倍)に住む人口23万人の救急医療を担っています。(図1)



図1

また救急現場の場所もドクターカーの医師のスマートフォンに地図伝送されるようになり、よりスムーズな運行ができるようになりました。半年間の運行で350件の要請があり、年700件ほどの要請見込みとなっています。これは中四国のドクターカー要請件数でも1、2を争う数であり地域での活用が十分にこなされている証拠であると考えています。

## 新ドクターカーシステム運用で変わった4つのこと

# 1.5倍

運行範囲に  
美作市・西栗倉村・真庭市・新庄村が加わり、  
大阪府の約1.5倍の面積をカバー

# 250日

運行日数が  
180日から250日に拡大

# 1分

出動要請システムの見直しで  
出動までの時間を7分から1分に短縮

# 約700件

新システムでドクターカー開始後  
年間の要請件数がこれまでの  
約200件から約700件に増加見込

岡山県北において緊急カテテル、ECMO(体外循環回路)による人工心臓を使用した治療)、緊急手術、集中治療を行えるのは当院のみであり地域救命の最後の砦として地域の医療を守り続けています。県北の救急搬送の約半数にあたる年間約5,000台の救急車の受け入れを行なっています。

## これまでの

## ドクターカー

当地域は担当地域が広大であり、また当院でしか重症患者を受け入れられないという特徴のため搬送時間が1時間を越える地域もあり、搬送中に容態が急変することも少なくない状況でした。そこで2004年より津山圏域消防組合と共同でドクターカー事業を開始し、病院前での医師・看護師による救急医療が行える体制となりました。

しかし年180日の運行、かつ津山圏域消防組合の範囲内での出動に限定されており、その有効性は十分に発揮できない状況でした。

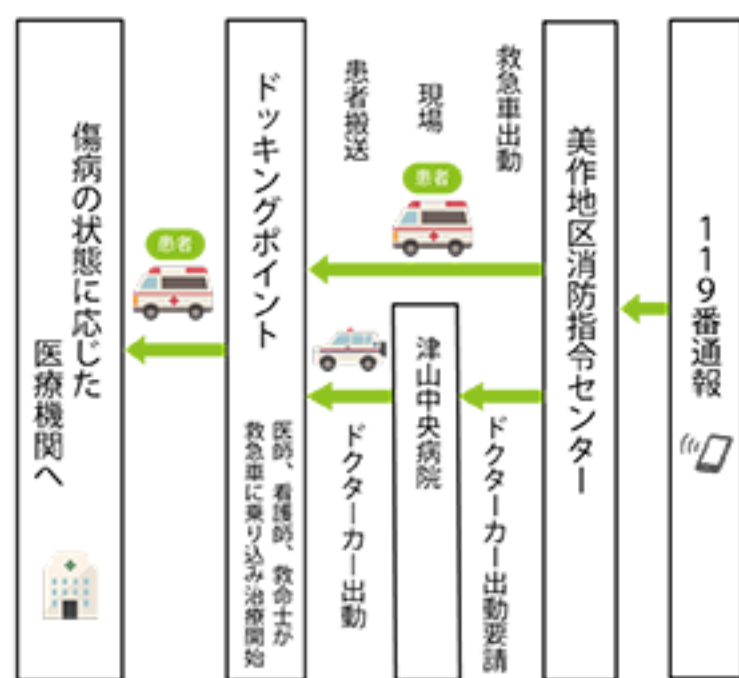
## 効果のあった事案

事案1：中年男性が反応がないとの事で救急要請、ドクターカーも同時要請。心停止の状態であり救急隊とドクターカースタッフが協力し蘇生、電気ショックを行った。ドクターカーの医師の診察の結果、急性心筋梗塞の可能性が高く、病院内に救急医師と循環器医師の召集とカテテル室の準備を指示した。病院到着しそのままカテテル室へ入室後、人工心臓が装着され急性心筋梗塞の診断でカテテル治療、患者は後遺症なく社会復帰した。

事案2：高齢女性が自動車の事故にて意識がないとの通報があった。救急隊出動と同時にドクターカーも出動し患者と接触した。患者は出血により心停止に近い状態でドクターカー医師による超音波検査にてお腹の中に出血している状態を診断した。病院内に救急医師、外科医師の召集と手術室、輸血の準備を指示した。病院到着後すぐに緊急手術を行い救命、予測生存率11%であったが歩いて退院ができた。

## 新ドクターカーシステム開始

そして、2022年4月から新しいドクターカー事業が開始されることになりました。新ドクターカーの車両は地元の会社(ツチダ産業株式会社様)から寄贈を受け、ドライバーも独自に雇用しました。運行日数は平日日中50週(約250日)と拡充し運行範囲も今までの津山圏域だけでなく美作市・西栗倉村・真庭市・新庄村が追加され大阪府の1.5倍の面積をカバーすることができるようになりました。ドクターカー要請から出動までの時間をより短くするため、消防の指令センター(119番要請を受ける消防部門)と連携し、救急車出動と同じ仕組みで出動要請を受けられるようにしました。今まで7分かかっていたドクターカー要請から出動までの時間が1分となり、日本でも1、2を争う速さで出動する事が可能となりました。



ドクターカー運用の流れ



ドクターカーには治療に必要な機器や薬剤を搭載

DOCTOR CAR DOCKING POINT  
ドクターカードッキングポイント



ドッキングポイントポイントはコンビニなど165か所を設定

いずれもドクターカーの医師が適切な診断と治療を行い、院内への治療にしっかりとつなげた症例です。ドクターカーだけでは効果は十分に発揮できず、病院内の診療レベルの高さがあったからこそ命を救い上げることができると考えています。

今後の課題は運行日、運行時間の拡大です。現在の平日日中運行から土日祝日も合わせた365日対応、かつ夜間対応まで拡充していく予定です。またドクターカーの充実だけでは地域救急医療の充実は達成できないため、消防機関や院内体制を巻き込んだシステムの充実、質の向上も同時に行い、地域住民の方々への安心安全、患者予後の一層の改善を目指していく所存です。



前山 博輝

(まえやま ひろき)

津山中央病院  
救命救急センター長

# 入院時重症患者メディエーターの取り組み

津山中央病院は岡山県北唯一の救命救急センターを有しており、年間約20,000人の方が救急受診をされています。また、救急車の搬送受入台数は年間約5,000台と、岡山県下でも多数の患者さんが毎日搬送されてきています。

中でも3次救急といった脳卒中、心筋梗塞、交通事故などで命の危機に瀕した患者さんも年間約1,500人が搬送されており、患者さん自身が意識のない状態で治療しながら搬送される場合もあります。そのご家族は突然の病気や事故に戸惑い、心配や不安なお気持ちのまま救急外来で待つておられると思いますが、医療スタッフはまず患者さんの状態が改善するように緊急で治療や処置をしており、ご家族にすぐ対応できないのが現状です。



そこでこの4月より「入院時重症患者メディエーター」という取り組みを開始しました。これは救急搬送されて困惑した重症患者さんやご家族と、担当医療スタッフとの間に入り、説明時に同席するなど必要なサポートをするのが目的です。

## 旬を食べる

ホクホクかぼちゃの  
あったかミルクそばろ餡



素材の味を活かして  
優しく減塩

【かぼちゃ】  
収穫時期は夏頃ですが、遠熟させることで甘みと栄養価が増すため旬の時期は秋から冬と言われているます。免疫力を高めるビタミンA・C・Eも豊富で風邪予防としての効果も期待できます。

【牛乳】  
和食の代表的な調味料である醤油・味噌は牛乳と相性がよく、コクや旨味をプラスしてくれます。また、和食と牛乳を組み合わせた「乳和食」も注目されており、和食の弱点であるカルシウム不足を牛乳がカバーしてくれます。

- 〈材料〉3人分  
○カボチャ(中) 1/4  
玉〇鶏ひき肉 100g  
○牛乳1カップ(200ml)  
○顆粒コンソメ 小さじ1  
○水溶き片栗粉(片栗粉 小さじ1、水 小さじ1)

〈作り方〉  
かぼちゃは3cm角にカットし、水(大さじ2)を加え、ラップをかけて電子レンジ(600W)で7〜8分加熱する(かぼちゃに火が通っていない様子を見て、追加で加熱する)。鍋にひき肉・牛乳・コンソメを入れ、中火で混ぜる。肉に火が通ったら弱火にし、カボチャと水溶き片栗粉を加えてとろみがついたら完成です。

津山中央病院 栄養管理部  
管理栄養士 磯山 勇樹

ご家族の支援では、患者さんの状態がわからず、不安なお気持ちで待つておられるご家族に可能な限り情報提供をし、安心していただけるように心がけています。

患者さんの治療、処置等が落ち着いた際の病状の説明時にご家族の許可を得て同席させていただき、病状や治療についての理解の確認や意思決定を支援していきます。また、ご家族の希望を伺って医療スタッフに伝え、より安心して治療を受けてもらえるようにしています。

救急の現場ではなかなか行き届かないこともありますが、少しでも皆様のお力になれるように努力して行きたいと思っています。



松永 ちづ子  
津山中央病院  
入院時重症患者  
メディエーター

## 病院のグルメ VOL.4

今回はカフェレストランシャロンの人気メニューベスト3を紹介します。



第3位 オムライス

スパイスの効いたチキンライスを卵がかかった昔ながらのオムライス。定番ながら飽きのこない美味しさです。



第2位 かつ丼

サクツとしている衣にプリプリとした身がぎゅっと詰まっている。タルタルソースの酸味とエビの甘みで最高の味わいです。揚げたてはもちろんです。冷めてもおいしいです。



第1位 エビフライ定食

お肉は厚切りでかつ井らしい満足感があり、甘辛いだし汁との相性はバツグン!

レストラン シャロン  
本館2階エスカレーターすぐ  
営業時間 9:00~14:15  
定休日 第2、4土曜、日曜  
祝祭日

## ドリンク一杯無料券



店内でお食事を注文の方に  
お好きなソフトドリンクを1杯プレゼント  
1枚で1グループ様ご利用できます。

有効期限：2023年3月31日迄



津山中央病院 2階エスカレーターすぐ



私たち津山慈風会は、  
地域の皆さんにやさしく寄り添います

一般財団法人津山慈風会

# 津山中央病院

〒708-0841 津山市川崎1756  
TEL.0868-21-8111 (代表) FAX.0868-21-8200  
<http://www.tch.or.jp/>



津山中央病院  
ホームページ



津山中央病院  
YouTube  
チャンネル



津山中央病院  
インスタグラム



津山中央病院  
Facebook